

## 評価委員視察の意見交換時のコメント（主なもの）

---

2015年12月16日

# 委員視察日程と参加者の一覧

実証地域	日程 対象校／参加委員	
	荒川区	11月26日（木）
諏訪台中学校 新井委員 栗山委員 東原委員		尾久小学校 幡委員 三友委員
新地町	11月5日（木）	11月27日（金）
	尚英中学校 清水委員長 大島委員	福田小学校／新地小学校 五十嵐委員 尾島委員 小泉委員 毛利委員
佐賀県	10月28日（水）	11月12日（木）
	中原特別支援学校 高濱委員	北方中学校／北方小学校 清水委員長 五十嵐委員 小泉委員

# 福島県新地町での意見交換時のコメント

分類	内容
教育クラウド・プラットフォームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の教室だけではなく、家庭で出来ること、時間を超えられることもクラウドのポイントである。</li> <li>• クラウドの課題と解決を学校側で見つけてもらうのは非常に大きな意味を持つ。</li> <li>• 課題を解決するところにICTの良さが使えると良いと思う。特別支援学級だからこそ、生徒たちのストレスに気を配れると良いと思う。</li> <li>• 家庭学習のあり方をICTで考えているが、導入段階で時間を短縮するために、強制的に動画を見せるなど、時間を必要とするようなものなどは、家庭でやらせるなどは、有益ではないか考える。</li> </ul>
機器・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総務省のクラウドは端末依存性がないことを目指している。その点についても今後、意見をいただきたい。</li> <li>• 将来的には端末は家庭で買ってもらうことを想定しているか確認していきたい。</li> </ul>
教材コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2020年に目指している姿がここにあると感じた。今までは問題を解くことが大勢を占めていた。今回は子供たちがコンテンツを作ってアップし共有するということで、シンキングツールなどで使い方が広がっていると感じた。</li> </ul>
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでの授業は、手を挙げた子だけ先生が指して進んでいく。今回は、先生が授業の中で、わざと違う考えの児童を指していた。答えが一覧になっているためできた。</li> <li>• デジタルとアナログをうまく融合させていくのは、難しい課題の一つである。タブレットに書かせると印刷しなくてはならないなどがある。本授業ではノートに残すことで定着するが、本当にノートに書かせた方がいいかは、難しい。</li> <li>• 今までは宿題で持ってきたものは、ほとんど答え合わせの○か×かであった。今日の場合は、考え方を授業で展開する、これは意味があると感じた。</li> <li>• 授業に反映されるとモチベーションに反映される。いろいろな意見をいう雰囲気作りも必要ではないかと思う。</li> <li>• 反転学習、連携学習は、委員も大変だし子供たちも大変だと思う。やって価値のあることが重要であり、何が何でも反転学習をする必要はない。</li> <li>• 家庭との連携を昨年につき始めているが、反転という言葉にとらわれず、授業と家庭学習との連携という、どういう学びを行うかという自由な発想でいいと思う。</li> </ul>



# 東京都荒川区での意見交換時のコメント

分類	内容
教育クラウド・プラットフォームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドを利用するという観点では、他生徒・他グループとのSNS機能を使った意見交換や隣接する地方との文化・経済・産業の交流を調査したり、他グループの進捗を可視化させ競争・ゲーミフィケーションの要素を取り入れたり、グループに貢献した生徒にみんなから賞賛、感謝のBadgeを付与したりと、改善領域はあると思った。</li> <li>ICTの良いところは履歴が残るということかと思うが、履歴の活用が薄いと感じた。</li> <li>ICTを使うメリットはどこに置いているのかが少し不明確な気がした。使うことありきで、使わなくてもいい場面でも使っているような印象を若干受けた。</li> </ul>
機器・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットPCに名前が貼ってあった。年度超えの作業、データのなもの、シール貼り替え等アナログなもの、学校側はどのような思いか。負担感はあるか確認したい。</li> </ul>
教材コンテンツ	特になし
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人、他のグループの進捗が分かれば、自分への気づきに繋がるのではないか。進捗が見えるような可視化が出来るといい。</li> <li>授業準備が大変だったと思うが、授業を設計、実施する際に、あったら良いツール、情報などがあれば是非教えてほしい。</li> <li>新たな学びの視点、深い学びの過程が生まれるような工夫があった。ジグソー学習の取り入れ。効率的なネット検索、調査したことを短時間でサマライズする能力、わかりやすい資料をつくるドキュメンテーション能力、グループディスカッション&amp;ファシリテーションの能力を学べる機会を提供する素晴らしい授業だった。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権的な問題がなければ、全国の先導的事業に参加の小中学校全体でクラウドを活用して、ゆるキャラを使って授業をやったら面白い。</li> <li>子どもたちに身に付けさせたい力は何なのか、その力を身に付けるにはどうしたらよいか、荒川区が全国に先駆けて挑戦してもらいたい。</li> </ul>

# 佐賀県／武雄市での意見交換時のコメント

分類	内容
教育クラウド・プラットフォームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校はICT 活用が一番の可能性があると考えている。</li> <li>家庭学習と授業が一体になっている。クラウドが活きている。テックキャンバスは予習の状況が見えて良い。クラウドのあり方、端末のあり方を考えていくことが本事業のゴールの一つ。</li> </ul>
機器・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末に求められる機能、クラウドに求める機能の整理が必要であり、それが本事業の役目であると考えている。</li> <li>小さい方が自由度が高く使い勝手が良いのでは。そんな仮説を持って授業を拝見していた。もっと気軽にちょっとした気づき考えたことをメモするなど、ポータビリティを生かした活用をしてもらいたい。</li> <li>小学校の7インチは少し小さいように感じた。性能面も心配なところもあり、こういった情報端末が求められるのかも整理が必要ではないのか。</li> </ul>
教材コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の蓄積が必要。また、できるだけ教材の教育的な価値を高めることも必要。本日の授業で利用された動画も、素材を芸能人ではなく、歴史的な人物等にすると、何年も使えると考えられる。</li> <li>クラウド上に乗った写真はどこから持ってきたものが気になった。著作権法の観点で注意が必要。どんなものが自由に使えると良いかは委員の方にも考えていただきたい。</li> </ul>
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>反転学習の例で、同じクラスの中でもつまづいている子には違う動画を見せてものよいのではないかと思った。授業では子供たちが家庭でしっかり学習してきた様子が見えた。</li> <li>反転学習は予習に限定されないと考える。問題を解く際に答えが記載されており、見えてしまうのは良くないと考える。</li> <li>反転学習は予習に限定しなくてもよい。問題を解かせてくるということに終始せず、課題提示でも良いし、もっと発展的なものにしても良いと考える。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの能力が上がったというものをエビデンスで残す必要もあると考える。</li> <li>著作権法35条の改正は子供達のコピーに関しては許可されるに至った。その際に、サーバの中に置くことは却下された経緯がある。時代が変わったので当該箇所を変更するよう文科省には働きかけて欲しい。</li> </ul>